

■ 6. プロンプトの作成

● インポートファイルについてのご注意

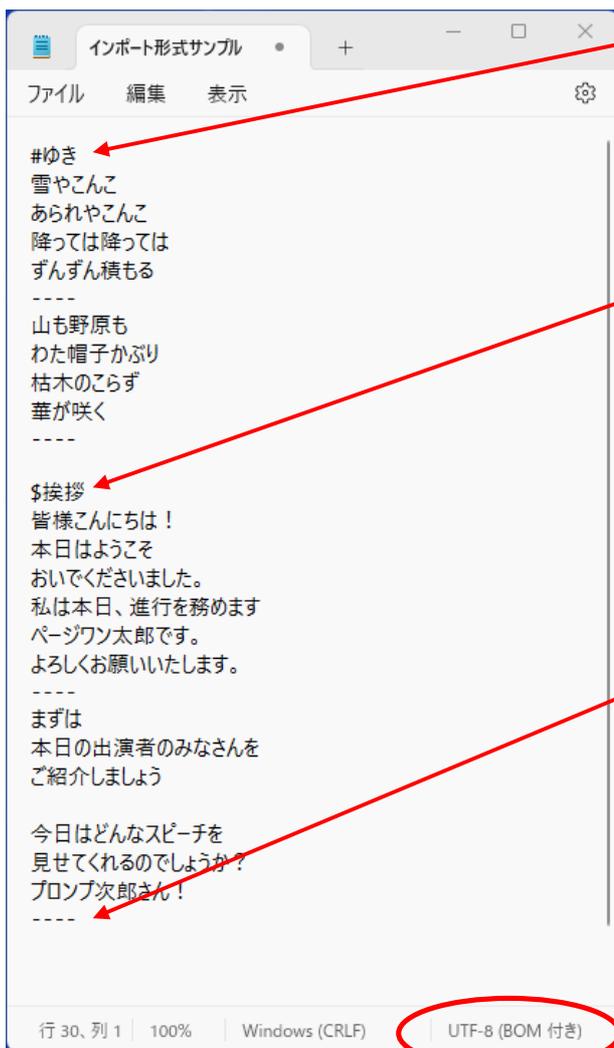
インポート可能なファイル形式、ブロックの指定については下記事項をお守りください。

インポート可能なファイル形式

書式なしテキストドキュメントファイル(.txt)

エンコード:UTF-8(BOM付き)

- ・横書きブロックでインポートする場合はデータの先頭に「#」(シャープ)を、縦書きブロックでインポートする場合はデータの先頭に「\$」(ドルマーク)を入れます。
- ・強制的にページを分けたい場合は改ページしたい箇所に「----」(半角ハイフン x4)を入れます。強制改ページを入れなければフォント設定で指定した行数で自動的に改ページして取り込まれます。改ページはツールバーの  アイコン(ページを分割する)でも可能です。



<横書きブロック>

●● の●●がブロック名として次の行からがブロックの内容としてインポートされます。この場合、「ゆき」という横書きブロックに、雪やこんこ～という原稿が作成されます。

<縦書きブロック>

\$ ●● の●●がブロック名として次の行からがブロックの内容としてインポートされます。この場合、「挨拶」という縦書きブロックに、皆様こんにちは！～という原稿が作成されます。

※ \$記号をインポート時に「文字方向:横書き」を指定すると、ブロックアイコンが赤色の横書きブロックとして読み込まれます。



<改ページ>

(----)を入力すると強制的に改ページされます。一行に半角の「-」(ハイフン)のみを4回入れます。3回、5回では認識されません。他の文字が入力された行の途中に入れても無効です。

※#、\$を指定しなかった場合や#、\$の前に改行、スペースを入れた場合は、インポートができません。前頁の手順でファイルインポートエラーとなった場合は、これらをご確認下さい。

エンコード:UTF-8(BOM付き)で保存